



友愛援助事業で海外への援助も

紛争や貧困、自然災害など苦しい状況の中で教育を受けられなかったり、苦しんでいる子どもたちが大勢います。世界の子どもたちのために何か支援できることはないだろうか。みなさまの声に応じてつくられたのがベルマーク運動の友愛援助です。自分たちの備品購入をちょっと控えて、ベルマーク預金を



1冊の本は、子どもたちの未来への扉です
ラオスのこども

直接寄付にあてる仕組みで、1998年にスタートしました。

友愛援助事業の募集期間は4月から翌年1月まで。詳しくはホームページまたは各校へ送付している友愛援助寄付申込書の用紙をご覧ください。写真は7か国を対象として昨年度募集した第22回友愛援助事業のものです。



難民キャンプの図書館で絵本を楽しむ子ども達
シャンティ国際ボランティア会



始業前や業間休みの時間に、保健衛生について学びます
ジョイセフ



寺子屋で識字クラスを受ける女性たち
日本ユネスコ協会連盟



東ティモールの農村部で予防接種を受ける母子
シェア



ふるさとの未来のために、森づくりに励むタイの子どもたち
オイスカ



紛争の影響が残るイラクで、民族や宗派が異なる子どもたちが交流し、共に学ぶワークショップと心のケアを実施
日本国際ボランティアセンター



©WFP/Francis Boima
シエラレオネでの学校給食支援の様子
国連世界食糧計画WFP協会



©UNICEF/UNI179316/Lynch
学校で授業を受けるブルキナファソの子どもたち
日本ユニセフ協会

こんな海外援助のボランティアもあります

絵本を届ける運動

貧困や紛争によって本に触れる機会が乏しいアジアの開発途上国の子どもたちに絵本を送ろうと、翻訳シールを貼って母語で読めるようにして届ける運動です。

ベルマーク運動に参加登録している中学校・高等学校を対象に翻訳シールを貼ってくれる学校を募集して、各校25セットを作ってもらいます。

※絵本セットの費用は財団が負担。出来上がった絵本の返送費用のみ学校負担になります。

